

HRプロフェッショナル向け実践英語コース

- 第5期：2022年度10月開講コースご案内 -

ビジネスのグローバル化が進展する今日、グローバルで活躍できる人材を確保・育成・適正配置していくために、人事部門においても英語を駆使してグローバルHR業務を実践、リードしていくことが必須の課題です



よく見られる問題

人事部門のグローバル化が遅れており、グローバルHRの実践が加速できない

海外人事は現地に任せきり

海外拠点での人事はライン部門や現地に任せきりとなりがちで、一体となったグローバル人材マネジメントができていない

グローバル人事戦略不徹底

戦略レベルの議論・共有・協働・実践ができておらずマルチ・ローカルマネジメントの域から脱しきれない

事務レベルの連携に留まる

英語のできる人材を人事にも投入したが、異動に伴う事務の連携などに留まっており、グローバル・タレントマネジメントには遠い

グローバルHRの知的資本（IC）の強化・バージョン・アップが必須

提供するトレーニングのコンセプト

海外現地のマネジメントやローカルHR部門などと人事戦略や人材マネジメント・ポリシーなどを共有し、グローバルタレントの効果的な育成や、最適配置などを実現していくためには、一定レベルのHRマネジメントにあたる者がローカルのマネジメント層やHRダイレクターなどと直接コミュニケーションすることが必須です。このためには基礎となる「ビジネス英語力」に加え、HR現場で使われている固有の表現・語彙力や、相手国のHRの方法論、さらには労働価値観や思考スタイル、カルチャー、即ち各国の人材マネジメントの裏にある隠れた知的資本（IC）を理解した上で、多様な海外人材を巻き込みながら人事戦略を共有・実行していく「グローバルHR実践力」を併せ持つことが必要です。

グローバルHRの実現

グローバルHR実践力

グローバルHRのIC

ビジネス英語力

英語でグローバル人事戦略を議論・実践する力の習得・強化

グローバルHRを議論するための知的資本（IC）習得へ

ビジネス英語力習得へ

グローバルHRの実テーマによる実践シミュレーション
・グローバルHR会議
・HRプランニングとプレゼン etc

HR固有の表現・知識の習得
グローバル標準のHRプラクティス

共通性・汎用性の高い
ビジネスシーン別英語力の習得



HRプロフェッショナル実践英語：プログラム概要

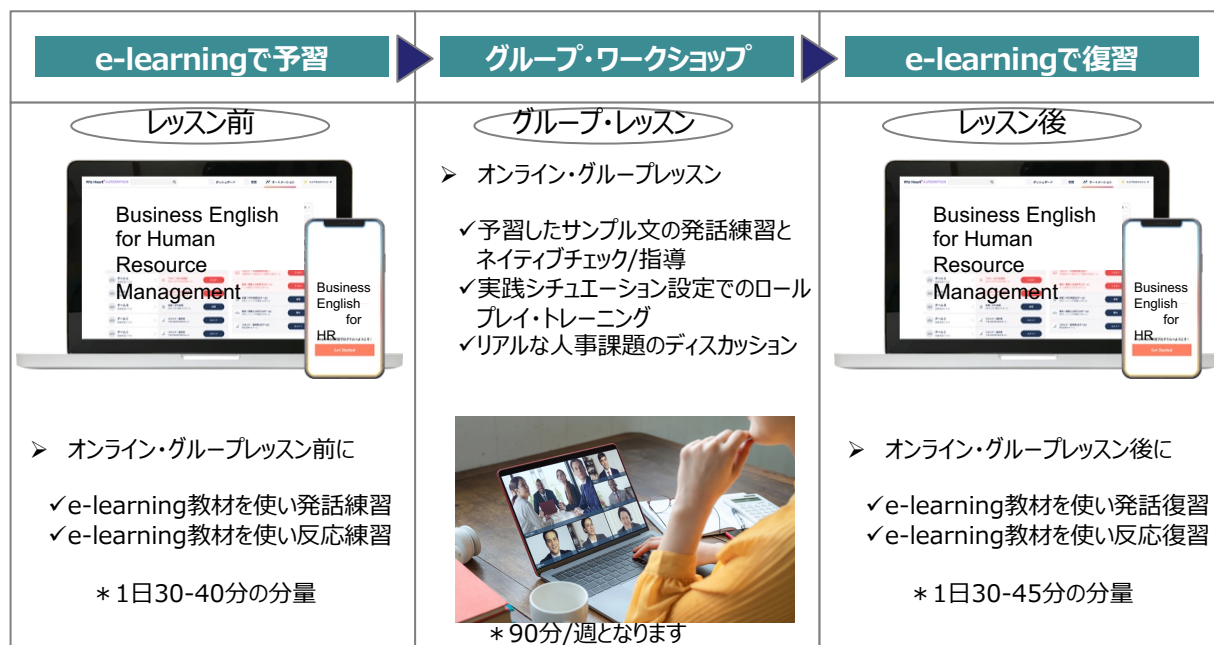
ネイティブ講師と日本人コンサルタントによるグループ・ワークショップ、e-learningを活用した自主学習、グローバルHR会議のシミュレーション、伴走コーチを組合せ、短期間にてグローバル人事の実践力強化を目指します

目的	グローバル人事の業務を英語で実行・マネジメントできる実践力をつける
対象	<ul style="list-style-type: none"> 人事部門においてグループリーダークラス（30歳前後目安）、若手課長クラス（30代後半目安） TOEIC目安：700点～800点台目安（700点台クラスと800点台クラスをそれぞれ設定予定）
教材	BUSINESS ENGLISH for Management（オリジナル教材。コース・レベルに応じ変更可能） HR補助教材：Cambridge Business English for Human Resource Management
演習	一例）グローバル・タレントマネジメントの観点からトップ・タレントのクロスボーダー・ローテーション制度導入を検討する 演習1：必要性の議論、メリット・デメリットの確認と導入方針の決定、検討課題毎のタスクリーダー決定 演習2：タスクリーダーの準備したドラフト案を検討、更に検討すべき課題を整理しアクション・プラン作成

□ プログラム全体像



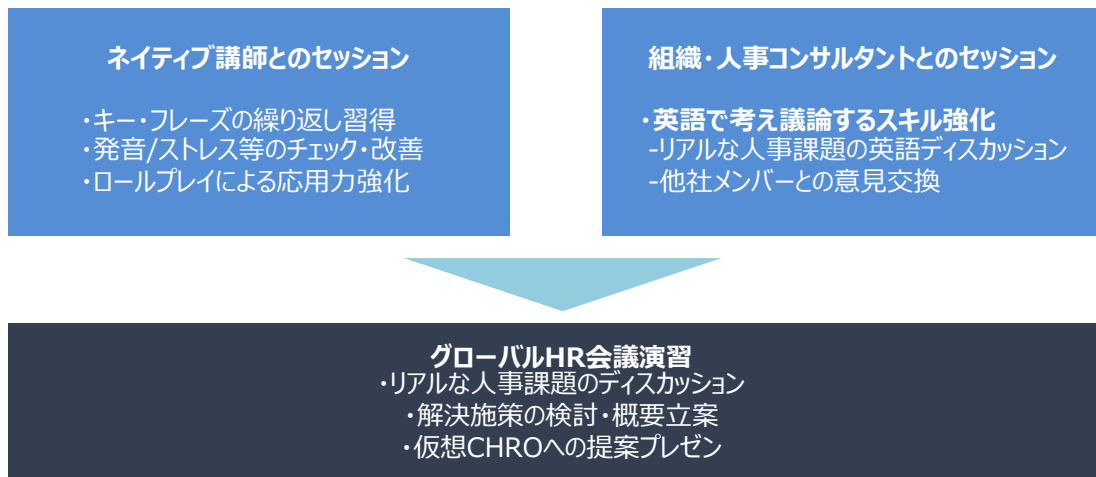
□ グループ・ワークショップとe-learning自主学習のループ



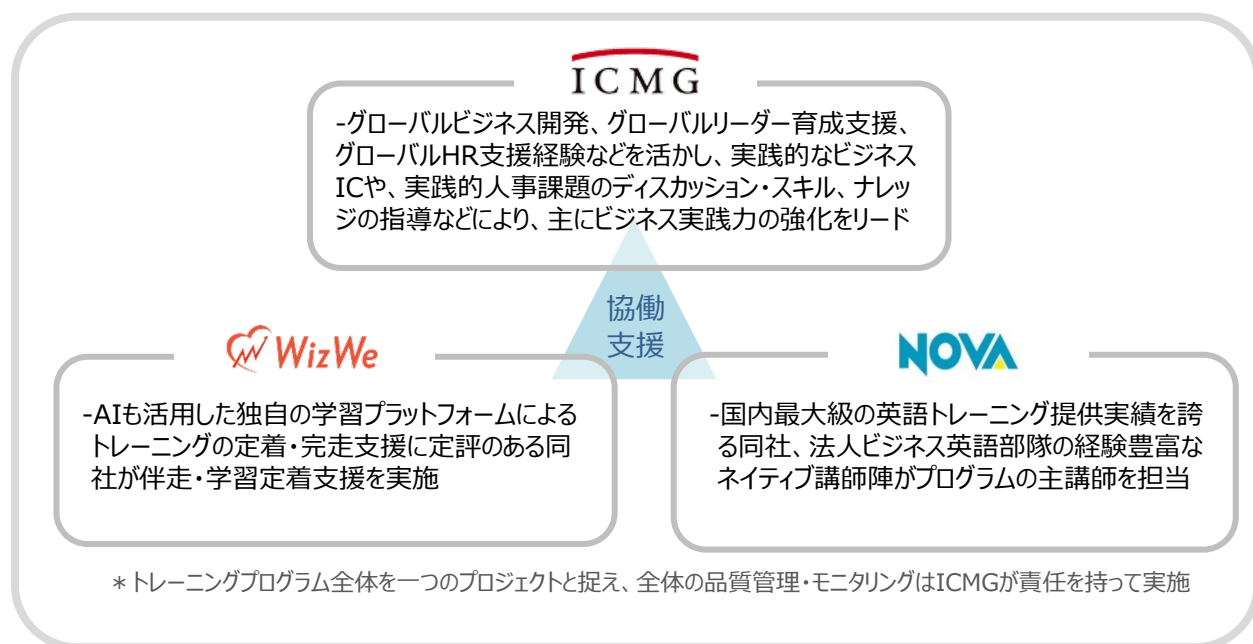


グループ・ワークショップの特徴

- ネイティブ講師とのロールプレイ、組織・人事コンサルタントとのリアルな人事課題ディスカッションを通して、人事課題を英語で考え、英語で議論することのできる、総合的な英語でのビジネス・コミュニケーションスキルを強化していきます
- 最終的には、グローバルHR会議の設定にて、人事課題のディスカッション・提案を経験していただきます



プログラムの実行体制



本トレーニング・プログラムの強み・メリット

- ✓ グローバルビジネス支援、英語対面トレーニング、データドリブンの科学的学習定着支援、それぞれに強みを持つ3社が協働で提供するトレーニングをオンラインで簡易に受講でき、確実に実践力の向上を図れる
- ✓ 他にはあまり見られない日本企業のグローバル化/グローバル人事課題にフォーカスをあてた実践的な英語力が身に着く
- ✓ 語学力に限らず、グローバル人事で活躍するための強化ポイントを他社メンバーからの刺激・気づきも含めて理解し、実践トレーニングができる

第5期：2022年度下期（10月開講）募集要項

2022年度下期（10月開講）のコースについて下記の通り参加者を募集します

開講期間	2022年10月第2週キックオフ～2023年2月初旬までの4ヶ月間 *クラス確定次第、グループワークショップ実施曜日を最終決定します。木曜または金曜の夕方予定
対 象	➢ 人事部門においてグループリーダークラス（30歳前後目安） ➢ 若手課長、課長前クラス（30代後半～40歳前後目安） } 適宜別クラス設定 1クラス4名を標準とします ➢ TOEIC目安：700点～800点台の方（ご相談下さい）
コース費用	23万円（税別）/お一人様4ヶ月 *別途4千円程度の副教材をご購入いただけます
その他の特典	期間中、グローバル人事を含む個別相談/コーチングを毎月1回受講可（各回1時間目安）

- * 上記コースは、原則、他社同レベル受講者との混合グループによる、いわゆる他流試合方式となります
- * **1ヵ月間だけのトライアル受講、個人費用負担の場合の割引**きなどもあります。詳細は下記説明会にご参加下さい。
- * 本タームより、コース修了者及び中上級者を中心とした、**英語でのHRテーマのフリー・ディスカッション並びに情報交換を主として行う、オンラインHRトークルーム**も同時に開設します。参加費：月1万円（税別）週1回1時間開催。詳しくはお問合せ下さい。

■以下の日程で本コースの**オンライン説明会を開催**します。コース受講をご検討の場合は下記の説明会にお申込みのうえご参加ください（同業の方のご参加はお断りさせていただきます）

説明会日程：**8月31日17時～18時、9月9日13時～14時**

*いずれもご都合の悪い場合は下記事務局までご相談ください

*お申込み/お問合せ先：**ICMG オンライン実践ビジネス英語トレーニング事務局**

mail: icm_info@icmq.co.jp Tel: 03-6812-2511（浅利、若林）

プログラム監修/コーディネーター/コーチ：株式会社ICMG エグゼクティブ・アドバイザー/前取締役

若林 豊



人事のプロフェッショナルとして、グループ・ワークショップのディスカッションやグローバルHR会議シミュレーション演習に参画する他、受講生の目標設定面談、個別コーチングなどに参画

<紹介>

日立製作所（人事、経営企画）勤務後、デロイト・トーマツコンサルティングヒューマンキャピタル部門日本代表、プライスウォーターハウスクーパー人事組織コンサルティング部門代表を経て、2015年より現職。組織・人事戦略領域を中心に20年以上の幅広いコンサルティング経験を有する。近年はAI、ピープルアナリティクスなどの新しいテクノロジーも積極的に活用し、特にグローバル人材の育成、イノベーション推進人材の育成支援に注力している

株式会社ICMG

本社所在地：東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル11階

設立：2000年4月

主要事業：知的資本経営をベースとした新事業創造支援、リーダーシップ開発、M&Aアドバイザー、その他の経営コンサルティングを提供



株式会社NOVA 法人語学研修事業

本社所在地：東京都品川区東品川2-3-12シーフォートスクエアビルディング9F

設立：1996年1月

主要事業：英会話、学習塾、幼児教育などを中心に全国2136校を誇る、日本一の通いたい教室による教育事業を展開

加えて通訳・翻訳事業、出版事業、留学事業など、日本のグローバル化を支える多様なサービスを一貫して提供



株式会社WizWe

本社所在地：東京都千代田区麹町4-8-8 麹町高善ビル5階

設立：2018年5月

主要事業：人がやり抜くことを実現する仕組み『Wiz Heart』の企画・開発・提供/インターネットを活用した各種人材育成ソリューションの提供/語学を中心としたグローバル人材育成ソリューションの企画・開発・提供

